


「まちを視る」神戸市長田区 新長田駅北地区 FW 議事録

日時・場所	平成20年3月1日(土) PM2:00～ 神戸市長田区 新長田北地区、シューズプラザ
参加者	片瀬、平峯、友田、岡村、伊藤、中井、吉谷、小山、鎌田、小川、金田、今中、松島、大戸、余川、梶、茂福 (計17名)
テーマ	神戸市長田区に見る中小地場産業と共存する住環境整備について
視察場所 (話題提供者)	神戸市長田区 新長田北地区、シューズプラザ くつのまちながた神戸(株) 専務理事 森正勝様 (株)パスコ神戸支店 片瀬範雄様
記録者	茂福隆幸(寝屋川市)
説明内容	<p>① 地区の概要</p> <p>◇ 新長田駅北地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名：新長田駅北地区震災復興土地区画整理事業 ・地区面積：59.9ha (新長田北エリア 42.6ha、鷹取北エリア 17.0 ha) ・震災前状況：人口7,587人、3,267世帯、建物2,217棟 ・被災状況：全壊数1,580棟、半壊数200棟、被災率80% ・事業計画決定：平成8年7月9日、平成9年3月3日追加 ・事業費：1,010億円 ・公共施設整備：公共用地率 施行前18%⇒施行後40% (道路16%⇒34%。公園2%⇒6%) 減歩率9% <p>◇ シューズプラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケミカルシューズ発祥の地としてシューズ産業が盛んで、くつの地場産業のまち長田として有名。 ・震災で甚大な被害を受け、早期復興のため地域活性化拠点施設としてシューズプラザを建設。 ・シューズ産業の震災 事業所建物の80%が倒壊、全半焼 (被災総額約3,000億円) ・復興状況 生産高 震災前の80%、現在約500億円 関連事業所数 震災前の約60%、現在約1,000事業所 従業員数 震災前の約50%、現在約3,000人



内容説明	<p>② 歴史、風土</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マッチ工場 ⇒ ゴム工場 ⇒ ゴム靴工場 ⇒ 第2次世界大戦後、ゴムの輸入が不安定となる ⇒ 塩化ビニール工場 ⇒ ケミカルシューズ誕生 ・ 昭和40年ごろがピークで、90%以上が靴の産業に従事。 ・ ケミカルシューズの90%以上を長田で生産 ⇒ その後アジアに生産がシフトしていった。 ・ 震災前は、商業・業務施設や靴工場、並びにこれらと混在する形で狭小住宅等が立地する住商工混合地域であった。 <p>③ まちの特徴</p> <p>◇新長田駅北地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災で約8割の建物が全半壊したが、防災性の優れた安全・安心でかつ快適なまちづくりを目指し、建築基準法第84条に基づく建築制限により、地震発生から2ヶ月間、無秩序な建築行為を制限し、震災復興土地区画整理事業により計画的なまちづくりを推進してきた。 ・ まちづくり協議会によるまちづくり提案 ・ 共同化住宅の建設（8箇所451戸） ・ 受け皿住宅の建設（2箇所143戸） ・ アジアギャラリー構想（アジアギャザリー 延床660㎡、17店舗） ・ シューズギャラリー構想（シューズプラザ 延床4,000㎡、15店舗） ・ いえなみ基準（景観形成市民協定の締結） <p>◇シューズプラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「中心市街地活性化法」に基づく「中心市街地都市型産業支援施設出資事業」の適用により、「中小企業基盤整備機構」「神戸市」「民間」から出資を受けた第三セクター「くつのまちながた神戸株式会社」が施設を建設・運営 ・ 施設概要 敷地面積：約1,380㎡ 構造規模：鉄骨造・地上4階、述べ床面積 3,492㎡ <p>④ まちづくりの活動（コミュニティ）</p> <p>◇新長田駅北地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新長田駅北地区東部まちづくり協議会連合会による活動 ・ 光でおもてなしをするまち事業 12月1日～1月31日まで、まちにイルミネーションを点火 ・ まちぐるみ花のまち事業 花市・寄せ植え講習会、街路樹足元緑化促進 <div data-bbox="938 1617 1437 1989" style="text-align: right;">  </div>
------	---

<p>内容説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・せせらぎ魅力アップ事業 せせらぎ定期清掃作業 イベント実施（式典やそうめん流し大会） 道路バナー設置、モニュメント表示 ・高取山の登山口のまちPR事業 ・まちぐるみ地域スポーツ事業（スポーツチャンバラ） スポーツチャンバラの体験会開催と神戸まつりパレード出場 ・協議会連合会活動用機材整備 ・ふれあい祭り <p>◇シューズプラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「神戸シューズ情報ネット」「神戸シューズショーケース」等を活用し、様々な情報の一元化、ワンストップ化を図り、ビジネスチャンスに生かせる情報の収集・発信の推進 ・シューズ関係の起業家等にコンパクトなオフィスを提供し、新しい人材の集積・育成を図り、ケミカルシューズ産業の高度化促進を支援 ・まちづくり拠点施設として、地域のまちづくりを支援 ・メーカー直売店を通じた消費者ニーズの迅速な把握と販売ノウハウの取得などの取り組みを支援 ・オーダー靴工房の集積等を通し、足元から市民の健康づくりを支援 ・地域内外の交流ふれあい企画・場の提供 <p>⑤ キーパーソン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は話を聞くことができませんでした。 <p>⑥ 官民との係り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪神・淡路大震災後、行政は無秩序な建築行為を制限するために、建築基準法第84条に基づく建築制限を適用し、その後、土地区画整理事業や市街地再開発事業の都市計画決定を行った。 ・住民主体の基本計画に基づき市民・事業者・行政による協働のまちづくりに取り組むために「まちづくり協議会」を設立し、住民の意見を踏まえたまちづくり計画を策定
-------------	---



<p>問題・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・低賃金のアジアに生産部門はシフトされつつあり、生産部門の存続が課題である。
<p>提 言</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインはすぐに真似をされるので、最終的には良質なものが残る。高価で良質なものを高く売るのが今後生き残る術である。 ・隣接しながら「真野地区」と「新長田北地区」は対照的である。新長田地区は綺麗だが血の流れが悪い印象がある。経済中心より人が中心のヒューマンスケールに立ち戻る時期ではないか。 ・デザイン力を含めケミカルシューズ世界ブランドとしての可能性を感じた。 <div data-bbox="938 705 1425 1066" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="461 992 1174 1523" data-label="Image"> </div>